

令和7年度（冬）宮崎大学公開講座

「源氏物語

～蜻蛉（かげろう）巻を読む～

集中講義予定

会場：錦本町ひなたキャンパス

「源氏物語 ～蜻蛉巻を読む～」とは、

蜻蛉とは、「陽炎」ではなく、虫偏から分かるようにトンボのことです。ただ、一日で寿命が終わるという伝承があるために、「はかない」という点では「陽炎」と共通します。時間の関係で今回は取り上げられませんが、巻名となった巻末の和歌から察するに、それは宇治の姉妹を比喻するものようです。

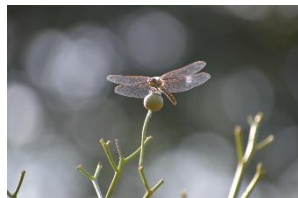
蜻蛉巻は宇治十帖の他の巻と同じくらい長いのですが、後半は浮舟と関係ない話になってしまいますので、今回の講座は1回で済ませることにしました。後半の話がどのように展開するかを感じていただくために、日曜午後の回に敢えて1回入れてみました。どうしてこのような展開となるかは、推測に過ぎませんが皆さんにお考えいただく形で後述し、本講座の第4回で詳しくお話しすることとします。

前巻・浮舟巻の巻末で、ヒロイン浮舟は死出の旅に出る決心をしますが、蜻蛉巻はその翌朝の描写から始まります。もちろん遺骸など見つかっていないのですけれど、事情を良く知る右近と侍従は、良く言えばそれを「察し」、また幾分悪く言えば、自分たちの責任を曖昧にしてしまうため、早々に死んだことにして、遺骸なき葬送を行ってしまいます。ここに次巻・手習巻で、浮舟生存が語られる余地が生ずるのです。

ただそれは、言ってみれば怪我の功名で、本当はやはり、浮舟はここで死んでいたのではないか。そのようなことも考えながら、この巻を読み進めて頂きたいと思います。

そしてその答えのどちらが正しいかは、第4回を聞いた上で、それぞれ御自身で御判断ください。

講師：宮崎大学名誉教授
博士（文学） 山田 利博



	期 日	内 容
第1回	令和8年3月21日（土） （10:30-12:00）	浮舟、失踪
第2回	令和8年3月21日（土） （13:00-14:30）	遺骸なき葬送
第3回	令和8年3月22日（日） （10:30-12:00）	薫、右近から実情を聞く
第4回	令和8年3月22日（日） （13:00-14:30）	薫、女一の宮と女二の宮を比較

◆受講方法

1. 12月1日(月)から募集を開始します。お電話、FAX、E-mailにてお申込ください。

宮崎大学学び・学生支援機構共創人材育成課

受付時間：9：00～16：00（土日・祝日は除く）

電話：0985-58-7188 FAX：0985-58-7974

E-mail：chiikijinza@miyazaki-u.ac.jp

※申込時の情報は、公開講座に関する業務のみに利用され、その他の目的には利用されません。



2. 受講申込（仮予約）がお済みの方は、銀行窓口で受講料を納入してください。

◆受講料：3,000円（全4回分・消費税込）

◆入金期日：申込日より1週間

◆振込先：宮崎銀行 清武支店 普通預金

口座番号：57863

受取人：国立大学法人宮崎大学（ダイ）ミヤザキダイガク

電話番号：0985-58-7122

注）銀行窓口で受講料を納めた際は、振込金受取書を必ず受け取ってください。

領収書になりますので、大切に保管してください。

申込後、大学にて振込確認を行い、受講者名簿に登録させていただきます。これで、受講決定となります。

※受講料について

- ① 受講料は銀行振込となります。当日の現金払いはお受けできません。
- ② 銀行振込の際には、振込手数料が必要となります。受講者の負担となりますのでご了承ください。
- ③ 受講料は返還できませんのでご注意ください。